



こまえをこまげる

# こまごなNEWS

Vol.17

2018年11月30日

発行号

発行:責任編集  
狛江市岩戸北  
3-18-8-701  
狛江で分かりやすい  
政治を伝える会



## トレコマ という名の

### 農産物直売所が、 市内5箇所誕生。



栗山晃靖さん

小川保さん



今回の「こまえをつなげるインタビュー」は、市民の皆様が親しまれている農産物直売所五箇所が共通デザインで生まれ変わったというニュース。今までよりもっと農家さんを身近に感じていただきたいという思いで始まったプロジェクト、皆様と農家さんをつないで「参ります」。

# 農産物直売所トレコマは 狛江の「人」と「街」と「農家」 をつないでいきます。

(今回は、狛江市農産物直売会会長の小川保さんとトレコマのデザインをされたハーモニクス代表の栗山晃靖さんにお話を伺いました。)



新しい直売所トレコマ、  
いかがですか？

【小川】今回の直売所リニューアルは、いいお話をお客様と直接、顔を合せて野菜をお届けする場所になりますし、何よりもトレコマ看板を見てくださった方が前よりも気に留めてもらえるようになった気がします。

トレコマというネーミングの由来は？

【栗山】最初に（ミヤケから）お話をもらった時、狛江に相應しい直売所のコンセプトは何だろうと考えました。直売所って狛江にお住まいの方が、農家さんから直接、お野菜等を買う場所になりますし、狛江らしい街の風景を作っていけるんじゃないかと。それで「人」と「街」と「農家」をつなぐことが、狛江らしい直売所の役割だという考えに行きつきました。ネーミングは、採れたての農産物を提供する狛江の直売所、すなわち「採れ」たての「こま」えをお届けする場所という意味でトレコマとしました。

また、イタリア語の「TRE」は「3」という意味で

すが、「人」と「野菜」と「農家」の3つをつなげていきたいという思いも掛けてあります。

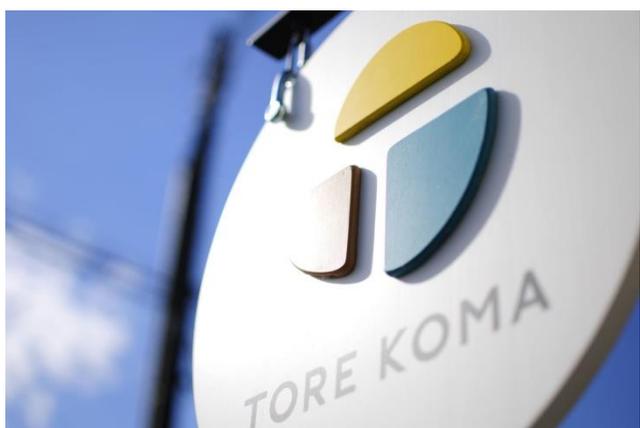
市民の方と農家さんをつないでいきたいですね。

【小川】親子連れの子供さんが畑を見て、親に尋ねるんです。「これは何？」って。すると親御さんが間違った答えを出して（笑）。白菜を見て「これキャベツだよ」と、私が「それ違うよ、白菜だよ」って。すごくコミュニケーションが深まる場所なんですよ。（食育としても）八百屋さんの野菜は切ったものが出されていきますからね。野菜の形自体がわからないう人が多からか、足を止めてみていく人が多いんですよ。

今後の新しい可能性が  
楽しみですね。

【小川】せっかく直売所がオシャレに変わって、市民の方から注目を集めるようになったんだから、色々な展開が考えられます。例えば、収穫したばかりの季節の枝豆を茹でて、ビールもご用意してカフェ風にしてみる面白いですね。

【栗山】トレコマの看板を取り付けていたら、あるご婦人から「あらっ、今までここに直売所があったかしら？」と話しかけてくださいました。その後、しばらくおしゃべりが続きました。こうしたコミュニケーションの輪が広がるトレコマが、狛江市内に増えていって、すごく楽しいと思います。（了）



【ミヤケの編集後記】

今回のプロジェクトのキツカケは、平成28年6月議会での石井議員（明政クラブ）の一般質問、「直売所の中にデザインが共通した販売什器のようなものがあつたらいい」という話にさかのぼります。それに呼応する形で、私がハーモニクスの栗山さんにお願したコンセプトデザインをベースに各農家さんにご相談して参りました。その後、山田議員（無党派）らのご助言をいただきながら一歩一歩進めていきました。

一方、行政には都補助金申請の手続きをお願いし、結果的に狛江市の一般財源をあまり使わずに実現出来ました。改めて全ての関係各位に感謝申し上げます。

